MN8180-60

SmartUPS用SNMPカード
（Network Management Card）

取扱説明書

お願い

製品をご使用になる前に本書を必ずお読みになり、注意事項をお守りください。
本書は、必要なときにすぐに見られるように保管してください。

商標について

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
(4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
(5) 運用した結果の影響については（4）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© MITSUBISHI ELECTRIC INFORMATION TECHNOLOGY CORPORATION 2010

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、
お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意（必ずお読みください）

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。これらの注意を無視して、装置を使用した場合、本製品または資産（データやその他の装置）が破壊されるおそれがありますので必ずお守りください。

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには本製品のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています（本体に印刷されている場合もあります）。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「危険」「警告」「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

危険　**人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。**

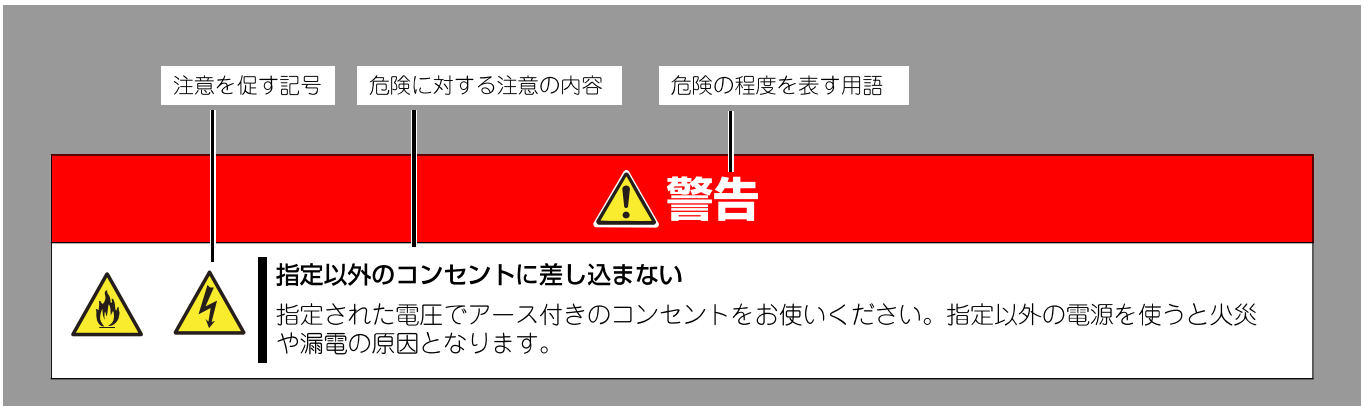
警告　**人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。**

注意　**人が傷害を負う可能性または物的被害のみが想定されることを示します。**

危険に対する注意・表示は次の 3 種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	（例） （感電注意）
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	（例） （分解禁止）
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	（例） （プラグを抜く）

（ユーザーズガイドでの表示例）



本書と警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれのあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。		

行為の禁止

	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示について（p.IV）」の説明を参照してください。

全般的な注意事項

⚠ 警告

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用を前提として設計されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

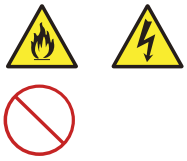
煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

自分で分解・修理・改造はしない

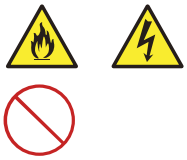
本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

⚠ 注意



海外で使用しない

本製品は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。



装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

⚠注意

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。
また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

譲渡または売却時の注意について

本製品を第三者に譲渡または売却する場合は、本製品に添付されている全てのものを譲渡（売却）してください。また、本書を紛失された場合は、販売店にご連絡ください。

廃棄について

本製品を廃棄する場合は、各自治体の廃棄方法に従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

はじめに

このたびは、MN8180-60 SmartUPS 用 SNMP カード（Network Management Card）をお買い求めいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品を正しく使用するための取り扱いや接続方法などを説明したものです。

本製品をご使用になる前に必ずお読みになり、注意事項を守ってご使用ください。

本書は、必要なときにすぐに参照できるようお手元に大切に保管してください。本製品をご利用される皆様に広くご活用いただければ幸いです。

三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社

本書について

本書は、本製品を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。セットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に本体のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windows または Linux のオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に 3 種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の構成について

本書は 5 つの章から構成されています。それぞれの章では次のような説明が記載されています。

重要

「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本製品を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

第 1 章 各部名称と説明

本製品の各部名称について説明しています。

第 2 章 セットアップ

本製品のセットアップ方法について説明しています。

第 3 章 交換時の注意

本製品を交換する場合の各種設定について説明しています。

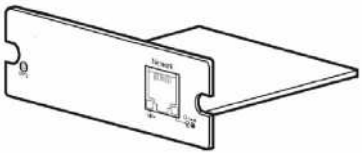
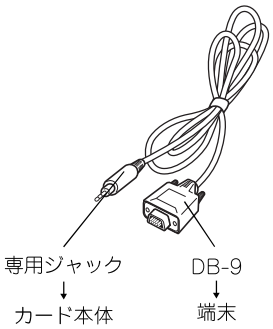
第 4 章 廃棄について

本製品の廃棄方法について説明しています。

第 5 章 付録

梱包内容の確認

装置を設置する前にまず、以下のものが揃っていることを確認してください。
万一不足しているものがありましたら、販売店へご連絡ください。

	梱包内容		
①		MN8180-60 Network Management Card 本体	**1 台**
②		マニュアル「MN8180-60 Smart UPS 用 SNMP カード取扱説明書」（本書）	**1 冊**
③		IP 設定用インタフェースケーブル 940-0299 （端末側：DB9） （カード本体側：専用ジャック）	**1 本**
④		IP 設定用ユーティリティ CD-ROM	**1 枚**

目次

⚠ 使用上のご注意（必ずお読みください） IV
安全にかかわる表示について IV
本書と警告ラベルで使用する記号とその内容 V
安全上のご注意 VI
全般的な注意事項 VI
譲渡または売却時の注意について VII
廃棄について VII
電波障害自主規制について VII
はじめに VIII
本書について IX
本文中の記号について IX
本書の構成について X
梱包内容の確認 XI

1 各部名称と説明

各部名称と説明 1

2 セットアップ

UPS への接続 3
Network Management Card のネットワーク情報設定 4
シリアル通信ターミナルを使用する場合 4
APC Device IP Configuration Wizard を使用する場合 11
制御ソフトウェアの設定 14

3 交換時の注意

Network Management Card を交換する場合 15

4 廃棄について

廃棄について 17

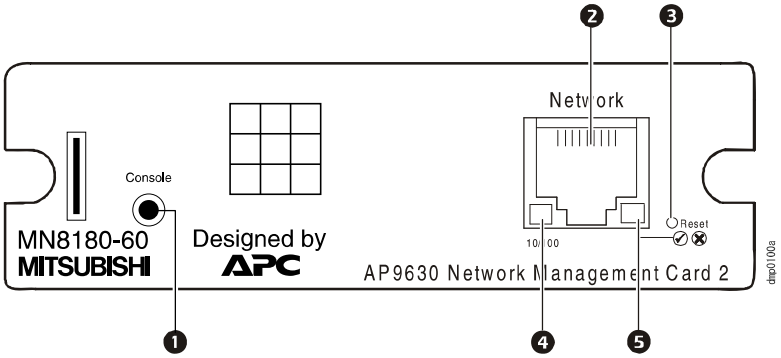
5 付録

故障かな？と思ったときは 19

1

各部名称と説明

各部名称と説明



項番	名称	機能
①	シリアル設定ポート	最初に本カードのネットワーク環境設定を行うために、本カードを添付のシリアルケーブルにてローカルコンピュータに接続するためのポート。
②	10/100 Base-T コネクタ	Ethernet ネットワーク接続するためのコネクタ。
③	リセットボタン	本製品が再スタートします。この場合、以下の場合を除いて本製品に設定されている内容は、保存されます。 **シリアル通信ターミナルで接続中に押下した場合** ● 本カードとシリアル通信ターミナルの通信が切断されます。この時、シリアル通信ターミナルで設定中の内容は正しく設定されない場合があります。

項番	名称	機能
④	リンク RX/TX (10/100) LED	消灯： 本製品に電力が供給されていない、本製品にケーブルが接続されていない、もしくは本製品をネットワークに接続するルーター、ハブなどのデバイスがオフになっているか、それが正しく動作していない状態を示す。 緑の点灯： 本製品が 10M 通信しているネットワークに接続されている状態。 緑の点滅： 本製品が 10M 通信のネットワークからデータパケットを受信している状態。 橙の点灯： 本製品が100M通信しているネットワークに接続されている状態。 橙の点滅： 本製品が 100M 通信ネットワークからデータパケットを受信している状態。
⑤	ステータス LED	消灯： 本製品に電力が供給されていないか、正常に動作していない状態を示す。 緑の点灯： 本製品に正しいネットワーク値が設定されている状態。 緑の点滅： 本製品にネットワーク値が正しく設定されていない状態。 橙の点滅（約 2 秒間隔）:本製品が BOOTP リクエスト（※）中であることを示す。 橙の点灯： 本製品がハードウェアトラブル状態であることを示す。 緑と橙がすばやく点滅： 本製品が DHCP リクエスト（※）を作成中であることを示す。 緑と橙がゆっくり点滅： 本製品が起動中であることを示す。

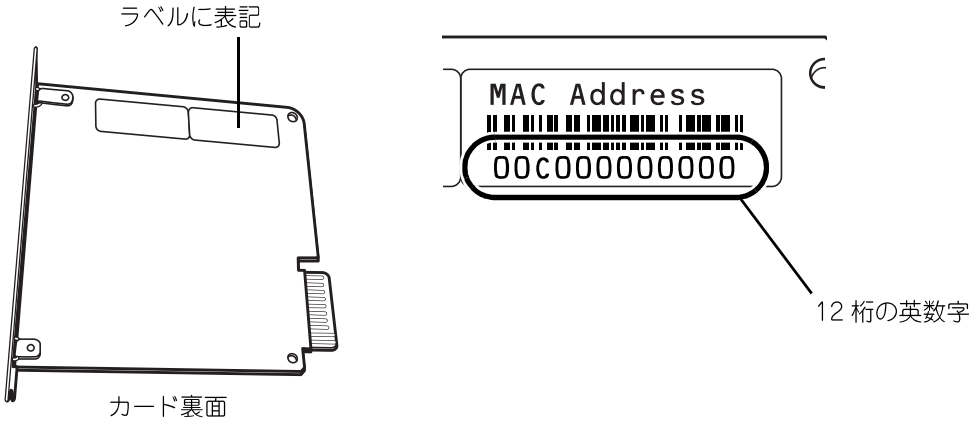
※ BOOTP リクエスト ：BOOTP サーバに対しネットワーク値の設定を要求すること
※ DHCP リクエスト　：DHCP サーバに対しネットワーク値の設定を要求すること

2

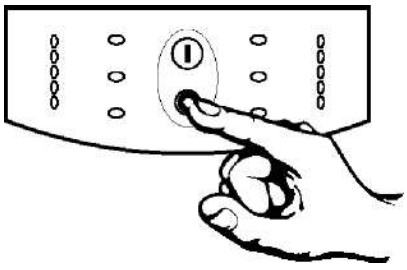
セットアップ

UPS への接続

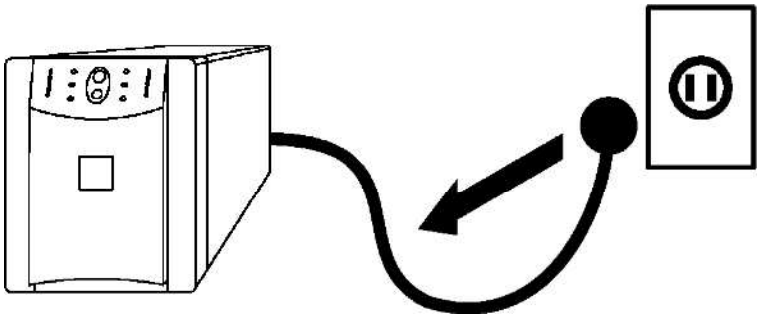
1. SNMP カードを装着する前に、カード裏面に記載されている MAC アドレスを確認してアドレス番号をメモしておきます。
   （LAN 接続によるネットワーク情報設定で使用します。）



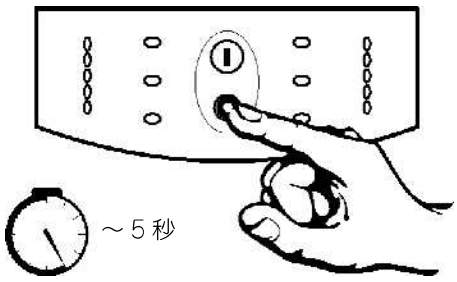
2. UPS に接続されている全ての機器をオフにしてください。
3. UPS のフロントパネルにある OFF ボタンを押してください。



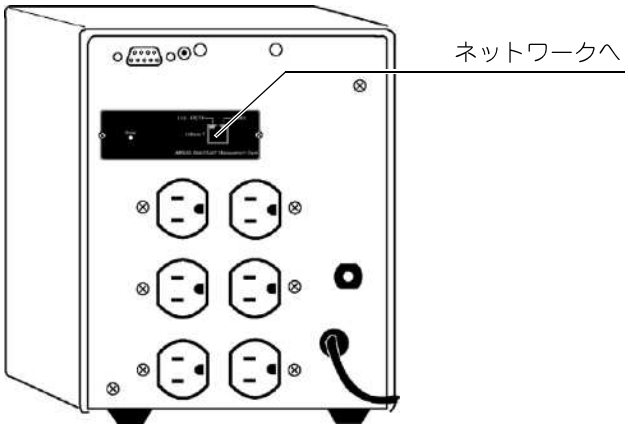
4. 電源コンセントから UPS の電源ケーブルを外してください。



5. 再び、UPS のフロントパネルにある OFF ボタンを約 5 秒間押してください。



6. 背面のアクセサリスロットの 2 つのねじを外して、スロットのカバープレートを UPS から外してください（外したカバーは大切に保管してください）。
7. カードを UPS のスロットへ挿入してください。
8. 項番 6 で外したねじを使ってカードを UPS に固定してください。



Network Management Card のネットワーク情報設定

Network Management Card のネットワーク情報を設定するには、シリアル通信ターミナルまたは、APC Device IP Configuration Wizard をインストールして設定します。

シリアル通信ターミナルを使用する場合

シリアルケーブルの接続

ターミナル（またはターミナルエミュレーションアプリケーション）で Network Management Crad にアクセスするには、製品に付属のインタフェースケーブル（黒ケーブル）で端末のシリアルポート（DB9）と Network Management Crad にあるシリアル設定ポート（専用ジャック）に接続します。

ターミナルの設定

ターミナルポートが次の接続に関する設定がなされていることを確認してください。

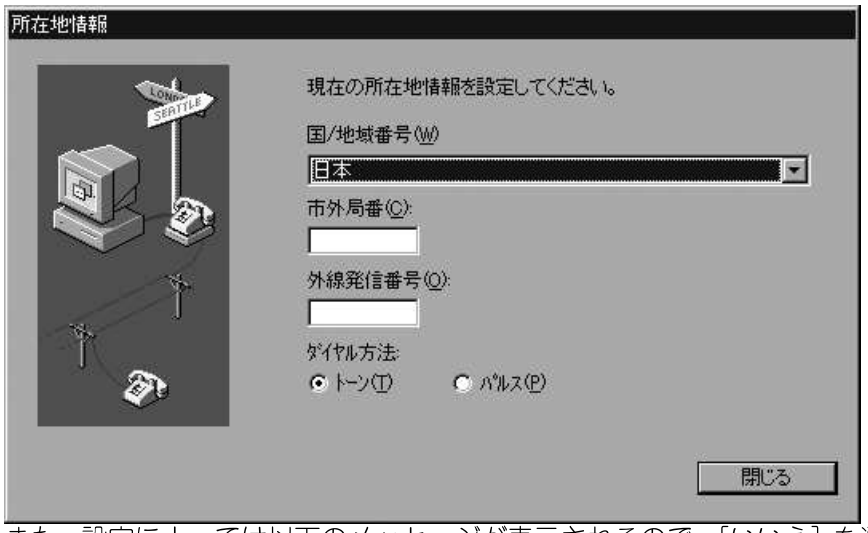
データビット：8	ストップビット：1	パリティ：なし	フロー制御：なし
ローカルエコー：なし	ビット / 秒：9600	ターミナルタイプ：ANSI（VT100）	

ハイパーターミナルを使って Network Management Card の設定を行う

ここでは、ハイパーターミナルを使った設定設定手順を説明します。

1. 「スタートメニュー」-「プログラム」-「アクセサリ」-「ハイパーターミナル」-「ハイパーターミナル」を選択し、ハイパーターミナルを起動します。

   ※ 所在地域情報が設定されていない場合、以下のウインドウが表示されるので、［国 / 地域番号］と［市外局番］を入力して［閉じる］ボタンを押してください。



また、設定によっては以下のメッセージが表示されるので、［いいえ］を選択して先に進んでください。

2. ［接続の設定］ダイアログが表示されるので、名前を入力して［OK］を押してください。

   ※ ここでは名前を［SNMP］としています。

3. ［接続の設定］ウインドウが表示されるので、［接続方法］を UPS を接続した COM ポート番号に設定し、［OK］を押してください。
※ ここでは COM1 としています。

4. ［COMx のプロパティ］ダイアログが表示されるので、以下の設定にして［OK］ボタンを押してください。

ビット / 秒	9600
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

5. UPS との通信が開始するので <Enter> キーを押して、UPS にログインしてください。
（「ネットワーク情報の設定（p.10）」ログイン方法を参照）

※ ハイパーターミナルの詳細設定内容

● プロパティの［接続の設定］タブ

［接続方法］を UPS を接続した COM ポート番号に設定します。

● ［COMx のプロパティ］（モデムの設定）

ビット / 秒	9600
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

● **プロパティの［設定］タブの設定**

ファンクションキー、方向キー、Ctrl キーの使い方	ターミナルキー
エミュレーション	ANSI
バッファの行数	500
接続 / 切断時に音を 3 回鳴らす	なし

● **ASCII 設定**

行末に改行文字をつける	なし
ローカルエコー	なし
ディレイ（行）	0
ディレイ（文字）	0
受信データに改行文字を付ける	なし
受信データを強制的に 7 ビット ASCII にする	なし
右端で折り返す	あり

※ ハイパーターミナルを使用しているときに、接続に関する設定を変更する必要がある場合は、

a. 必要な設定を変更してください。

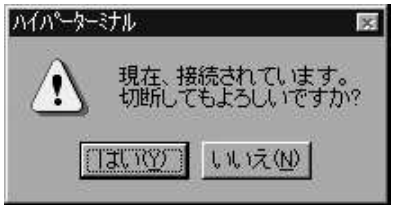
b. メニューバーの「通信」-「切断」を選択してください。

c. メニューバーの「通信」-「接続」を選択してください。

これで、接続に関する設定がなされ、Network Management Card への接続が可能です。

ハイパーターミナルの終了方法

1. UPS との通信が終了したら、メニューバーの「ファイル」－「ハイパーターミナルの終了」を選択しハイパーターミナルを終了します。
   接続を切断するかを確認する［ハイパーターミナル］のダイアログが表示されるので、［はい］のボタンを押してください。



   その後、セッションを保存するかを確認する［ハイパーターミナル］のダイアログが表示されるので、［いいえ］のボタンを押してハイパーターミナルを終了してください。

ネットワーク情報の設定

1. ログインします。

   プロンプトが表示されたら、

   ① ユーザ名を入力して <Enter> キーを押してください。

   ② パスワードを入力して <Enter> キーを押し、コマンドラインインターフェイスを表示させます。

   ※ ユーザ名、パスワード共にデフォルトは小文字の apc です。ユーザ名、パスワードを変更する場合はそれぞれ半角英数字（大文字子小文字区別有り）を 10 文字まで 使用し設定可能です。

```
User Name : apc
Password  : ***
```

2. ネットワークの設定を行います。

   Network Management Card のコマンドラインインターフェイスにログオンすると、以下のような画面が表示されます。

```
American Power Conversion              Network Management Card AOS  vx.x.x
(c)Copyright 2008 All Rights Reserved  Symmetra APP                 vx.x.x
-------------------------------------------------------------------------------
Name: Test Lab                                  Date : 10/30/2008
Contact  : Don Adams                            Time : 5:58:30
Location : Building 3                           User : Administrator
Up Time  : 0 Days, 21 Hours, 21 Minutes         Stat : P+ N+ A+

APC>
```

   (1) 入力プロンプト（APC>）に対し、以下のコマンドを使用して IP アドレスの設定を行います。

   tcpip -i (IP アドレス) + "<ENTER>"

   たとえば、Network Management Card の IP アドレスを「150.250.6.10」に設定する場合は、以下のように入力します。

   tcpip -i 150.250.6.10 "<ENTER>"

   (2) 次に、入力プロンプト（APC>）に対し、以下のコマンドを使用してサブネットマスクの設定を行います。

   tcpip -s (サブネットマスク) + "<ENTER>"

   たとえば、サブネットマスクを「255.255.255.0」に設定する場合は、以下のように入力します。

   tcpip -s 255.255.255.0 "<ENTER>"

   (3) 次に、入力プロンプト（APC>）に対し、以下のコマンドを使用してデフォルトゲートウェイの設定を行います。

   tcpip -g (デフォルトゲートウェイ) + "<ENTER>"

   たとえば、デフォルトゲートウェイを「150.250.6.1」に設定する場合は、以下のように入力します。

   tcpip -g 150.250.6.1 "<ENTER>"

   重要 **ループバックアドレス（127.0.0.1）をデフォルトゲートウェイアドレスとして指定しないでください。**

   これでネットワークの設定は完了です。

   設定内容を確認するには、入力プロンプト（apc>）に対し、「tcpip」と入力し <ENTER> を押します。

3. Exit と入力しログアウトします。

重要

3 項目については、必ず（ 0.0.0.0）以外の数値を設定してください。
（ 0.0.0.0）は正常に動作しません。

ログアウトすると、Network Management Card が再起動（数秒間）し、ネットワークの設定が有効になります。IP アドレス、サブネットマスク、ディフォルトゲートウェイが有効になると、ステータス LED が緑色に点灯します。

APC Device IP Configuration Wizard を使用する場合

最初に Network Management Card の MAC アドレスを確認しておきます。端末と、UPS に装着し動作している本カードを LAN に接続してください。

APC Device IP Configuration Wizard のインストール

自動実行が有効になっている場合は、ネットワークに接続されたコンピュータの CD ドライブに IP 設定用ユーティリティ CD-ROM をセットし、メニュー画面を開きます。

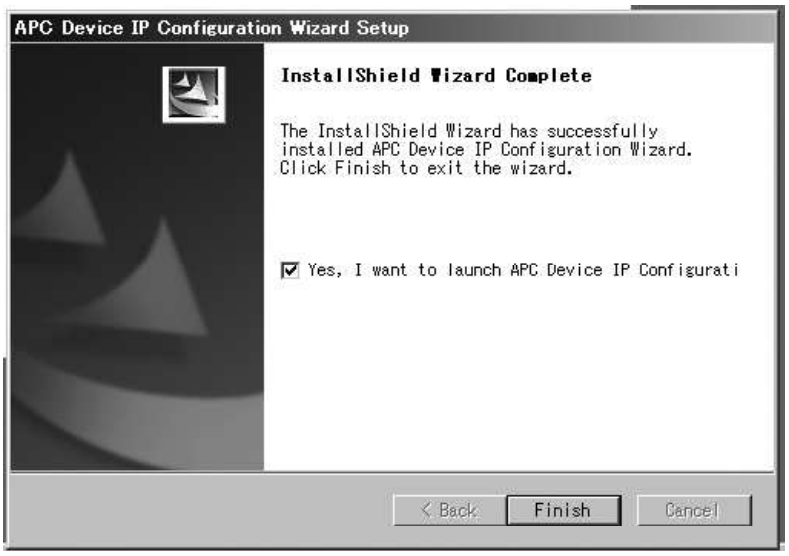
1. メニューより「APC Device IP Configuration Wizard」を選択してください。
2. 次の画面で「Install the Wizard」を選択してください。
3. インストーラが起動します。[Next >] をクリックします。

APC Device IP Configuration Wizard Setup
Welcome to the InstallShield Wizard for APC Device IP Configuration Wizard
The InstallShieldR Wizard will install APC Device IP Configuration Wizard on your computer. To continue, click Next.
< Back
Next >
Cancel

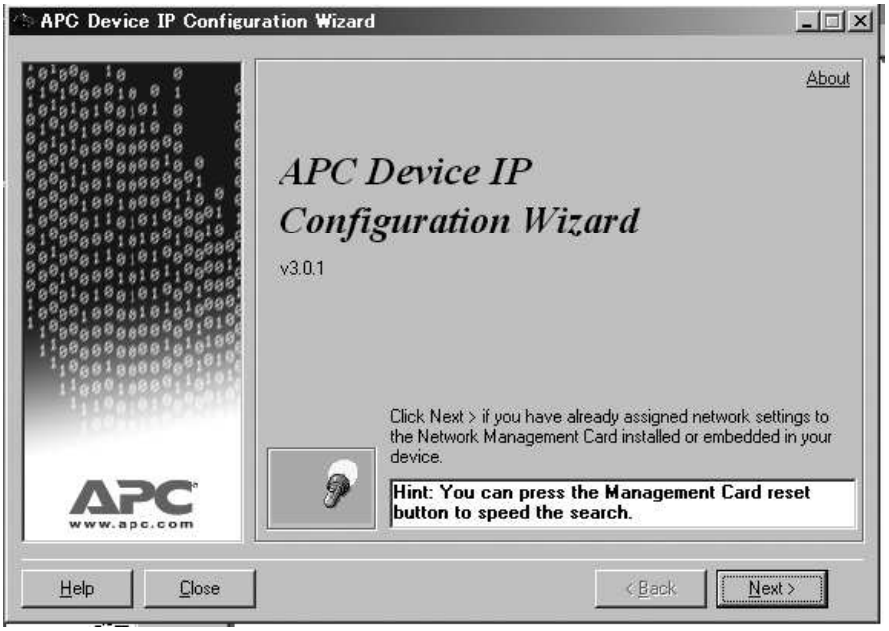
4. APC Device IP Configuration Wizard をインストールするフォルダを確認し、[Next >] をクリックします。インストールするフォルダを変更する場合は「Browse…」をクリックし、フォルダを指定します。

APC Device IP Configuration Wizard Setup
Choose Destination Location
Select folder where setup will install files.
Setup will install APC Device IP Configuration Wizard in the following folder.
To install to this folder, click Next. To install to a different folder, click Browse and select another folder.
Destination Folder
C:¥...¥APC Device IP Configuration Wizard
Browse...
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

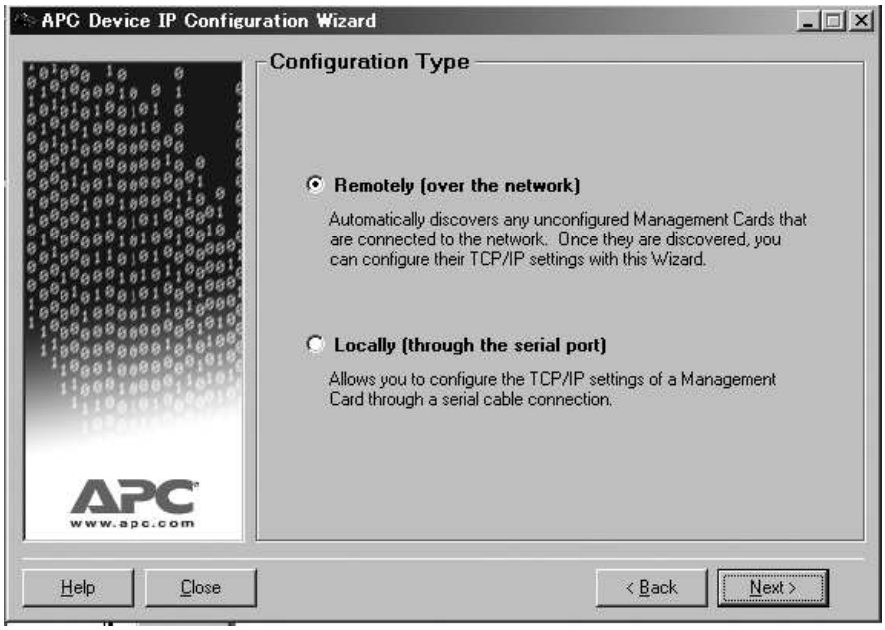
5. インストールが完了しました。すぐに APC Device IP Configuration Wizard を起動するには［Yes, I want to launch APC Device IP Configuration Wizard］チェックボックスをオンにし、［Finish］をクリックします。すぐに起動しない場合は、チェックボックスをオフにしてインストーラを終了し、Windows の「スタートメニュー」－「プログラム」－「APC Device IP Configuration Wizard」－「APC Device IP Configuration Wizard」を選択し、APC Device IP Configuration Wizard を起動します。


APC Device IP Configuration Wizard Setup
InstallShield Wizard Complete
The InstallShield Wizard has successfully installed APC Device IP Configuration Wizard. Click Finish to exit the wizard.
Yes, I want to launch APC Device IP Configurati
< Back
Finish
Cancel

6. APC Device IP Configuration Wizard が起動します。［Next >］をクリックします。


APC Device IP Configuration Wizard
About
APC Device IP Configuration Wizard
v3.0.1
Click Next > if you have already assigned network settings to the Network Management Card installed or embedded in your device.
Hint: You can press the Management Card reset button to speed the search.
APC
www.apc.com
Help
Close
< Back
Next >

7. APC Device IP Configuration Wizardが稼動しているコンピュータと、これから設定を行うNetwork Management Card がネットワークに接続されていることを確認します。[Configuration Type] で [Remotely (over the network)] をチェックし、[Next >] をクリックします。

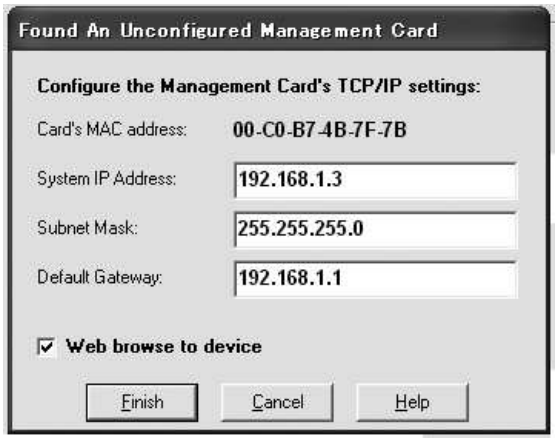

APC Device IP Configuration Wizard
Configuration Type
Remotely (over the network)
Automatically discovers any unconfigured Management Cards that are connected to the network. Once they are discovered, you can configure their TCP/IP settings with this Wizard.
Locally (through the serial port)
Allows you to configure the TCP/IP settings of a Management Card through a serial cable connection.
APC
www.apc.com
Help
Close
< Back
Next >

重要

ウィザードが未設定の Network Management Card を検出できるように、ファイアウォールソフトを一時的に無効にする必要があります。

8. 認識したネットワークカードの設定画面が表示されます。表示された MAC アドレスのカードに対し設定したい IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定を行ってください。設定後、[Finish] を押下してください。

   (Web browse to device のチェックが入ってる場合は、設定完了後、Web ブラウザ画面が自動起動します。)



重要

3 項目については、必ず（ 0.0.0.0）以外の数値を設定してください。
（ 0.0.0.0）は正常に動作しません。

9. 設定されている、ユーザ名、パスワードが表示されます。デフォルトは、ユーザ名、パスワード共に［apc（半角小文字）］となります。そのまま、［OK］をクリックしてください。未設定のネットワークカードが複数毎ある場合は、前記“8 項”の画面が認識した枚数分繰り返し表示されます。

APC Device IP Configuration Wizard
Your default Web browser will be started.
Enter in the following at login:
User Name: apc
Password: apc
OK

10. APC Device IP Configuration Wizard で［Web browse to device］をチェックしている場合は、設定完了後 Network Management Card の Web ブラウザ画面が自動起動します。チェックを入れていない場合は、Internet Explorer を起動し、設定した IP アドレスを指定してください。Web ブラウザのログイン画面が出てきます。ユーザ名、パスワード共にデフォルトは「apc（半角小文字）」です。
11. ログインできれば、ネットワークカードの IP アドレス設定は完了です。

制御ソフトウェアの設定

本製品は、PowerChute Business Edition では制御できません。本製品を使用して UPS を制御する場合は、ESMPRO/AutomaticRunningController および ESMPRO/AC Enterprise が必要です。

ESMPRO/AutomaticRunningController および ESMPRO/AC Enterprise の設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

3

交換時の注意

Network Management Card を交換する場合

Network Management Card を交換する場合、交換後、IP アドレス、サブネットマスク、ディフォルトゲートウェイの設定を交換前のカードの設定に合わせて、再度設定する必要があります。

設定方法については、「セットアップ（p.3）」を参照してください。交換前のカードの設定値は以下の方法で確認できます。

- **IP アドレスの設定値**

  IP アドレスの設定値は、UPS 制御ソフトウェアに設定されている UPS 用のアドレス設定で確認することができます。詳しくは UPS 制御ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

- **サブネットマスク、ディフォルトゲートウェイアドレスの設定値**

  サブネットマスク、ディフォルトゲートウェイアドレスの設定値は、UPS 制御ソフトウェアを運用しているサーバのネットワークの設定で確認することができます。詳しくはサーバのマニュアルを参照してください。

4

廃棄について

廃棄について

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として、法令、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。

5 付録

故障かな？と思ったときは

この章では、本製品使用中のトラブルについて対処方法を説明しています。

本製品を使用中に「故障かな？」と思われる症状が起きたら、まず、以下の項目を参考にしてチェックしてください。該当する項目がない場合や「対策」を行っても症状が改善されない場合は、販売店または保守サービス会社へご連絡ください。

トラブルと原因	対策
ターミナルで本製品からの応答がない	
● ステータス LED が消灯 → 本製品に電力が供給されていません。	● UPS の電源ケーブルが UPS とコンセントに完全に接続されているかを確認してください。 ● UPSの商用電源に電力が供給されているか確認してください。 ● 本製品がUPSに正しく挿入されているか確認してください。
● UPS　とターミナルがケーブル接続されていない	● UPSにインタフェースケーブルを接続してください。
● ターミナルが通信状態になっていない	● ターミナルを通信状態にしてください。
● UPS とターミナルの接続ケーブルが付属のインタフェースケーブル以外のケーブルを使用している。	● 付属のインタフェースケーブルを使用してください。
ターミナルで本製品からの応答が異常	
● ターミナルの設定が誤っている	● ターミナルの設定を確認してください。
● UPS とターミナルの接続ケーブルが付属のインタフェースケーブル以外のケーブルを使用している。	● 付属のインタフェースケーブルを使用してください。

トラブルと原因	対策
本製品が ping に応答しない	
● リンク RX/TX LED が消灯 → ネットワークケーブルが接続されていない。	● ネットワークケーブルを本製品に接続してください。
→ ネットワークケーブルの不良。	● 正常なネットワークケーブルを使用してください。
→ ネットワークに接続するハブ等の接続装置がオフになっているか、正しく動作していない。	● ハブ等の接続装置の動作を確認してください。
→ 10BASE-T ／ 100BASE-T 以外のネットワーク機器と接続している。	● ハブ等の接続装置の速度が自動認識設定になっている場合は、10BASE-T ／ 100BASE-Tx の設定を試してください。
● ステータス LED が赤の点滅 → 本製品と UPS の接続が不良です。	● 本製品がUPSに正しく挿入されているか確認してください。
● ステータス LED がゆっくりした（約 2 秒間隔）赤の点滅 → 本製品のネットワーク値が未設定であることを示しています。	● 本製品にネットワーク値を設定してください。

SmartUPS 用 SNMP カード
（Network Management Card）
（MN8180-60）

2010 年 2 月　第 1 版

三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社

〒 247-8520
神奈川県鎌倉市上町屋 325
http://www.mdit.co.jp

MITSUBISHI ELECTRIC INFORMATION
TECHNOLOGY CORPORATION 2010

弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

Z9900-MN-C1-9630-1